
第7章 計画の推進のための取り組み

1. 地域福祉推進のための連携及び活動支援

(1) 庁内ネットワークの強化

町の高齢者対策について、保健福祉のほか、文化、教育、環境等、各関連部署間の横の連携を強化し、情報の共有や施策の展開を図ります。また、町の全職員に対し、高齢者問題を自らにも起きうる課題としての理解と関心の高揚を図ります。

(2) 地域住民、関係機関との連携

各自治会、老人クラブ、婦人会、青年会、民生委員・児童委員協議会、地域ボランティア及び高齢者介護施設等、地域のあらゆる関係機関・団体等との連携を強化し、高齢者施策の推進において理解と協力を求め、本計画の円滑な推進を図ります。

(3) 沖縄県介護保険広域連合との連携

介護保険事業は、広域連合が保険者となって運営されていますが、本町においては認定申請等の一部事務を行っています。広域連合との連携を強化し、認定やサービス提供に関する相談などについて対応するほか、地域密着型サービスの整備について調整を図りながら地域ニーズに応えられるように進めます。

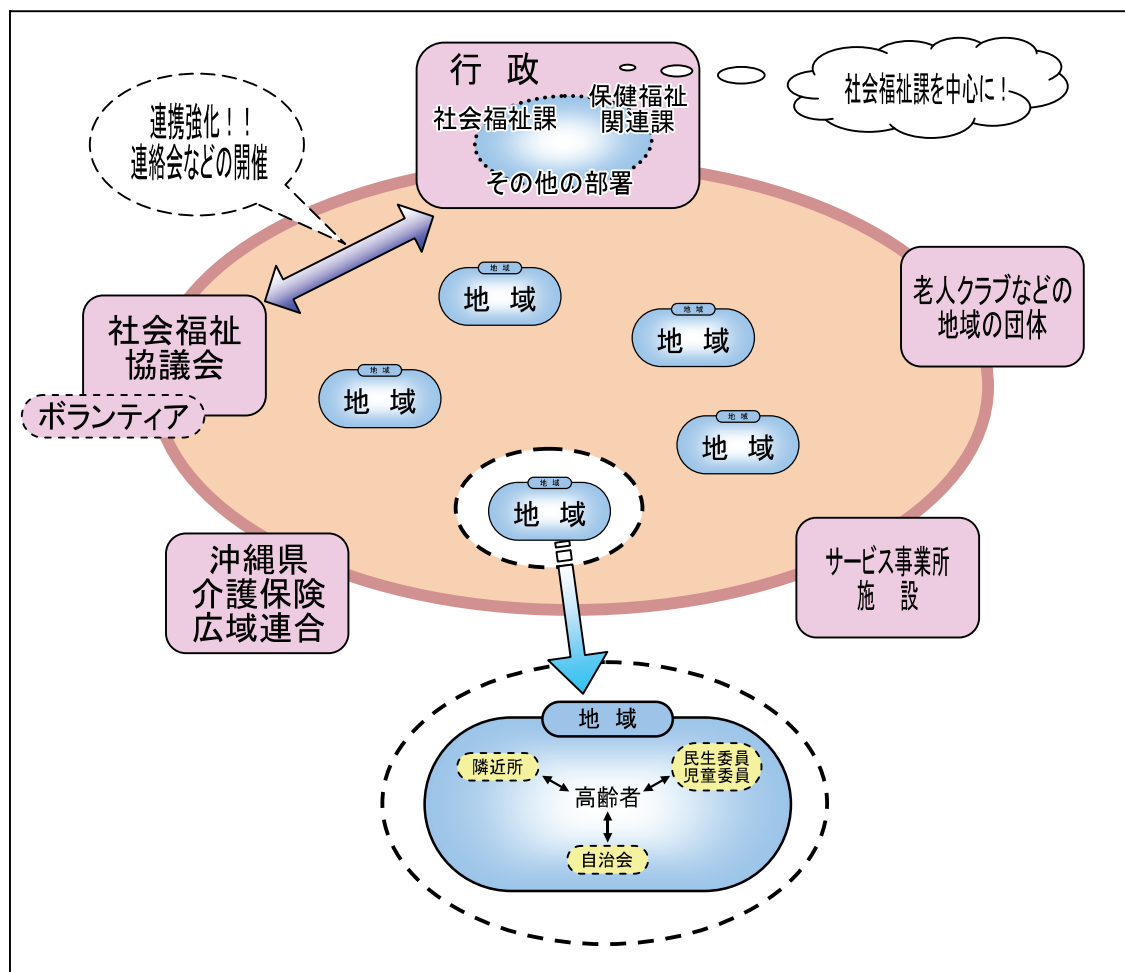
(4) 社会福祉協議会の活動支援

町の社会福祉協議会は、地域の福祉活動等の要となっていることから、今後とも取り組みにおける連携及び活動支援や活動基盤の強化に努めます。

(5) 民生委員・児童委員の活動支援

各区に配置されている民生委員・児童委員については、今後とも社会福祉協議会との連携を密にし、地域福祉推進のために各関係機関・団体等との交流を広げ、民生委員・児童委員の活動に対する理解と協力を求めていくなど、活動の充実・強化を支援します。

< 連携のイメージ図 >



2. 計画の進行管理、広報等

(1) 計画の点検等について

本計画は3年計画であり、見直しは最終年の平成26年度に行うこととしていますが、事業は毎年新しい課題に直面します。計画の実効性を確保するために、初年度から計画の進行状況の点検等を年度末に行い、事業展開の上で把握された課題についての対応策を検討し、実施していきます。

(2) 計画の広報

地域住民に対し、本計画への理解と関心を高めてもらうために、広報紙等による計画の周知に努めます。

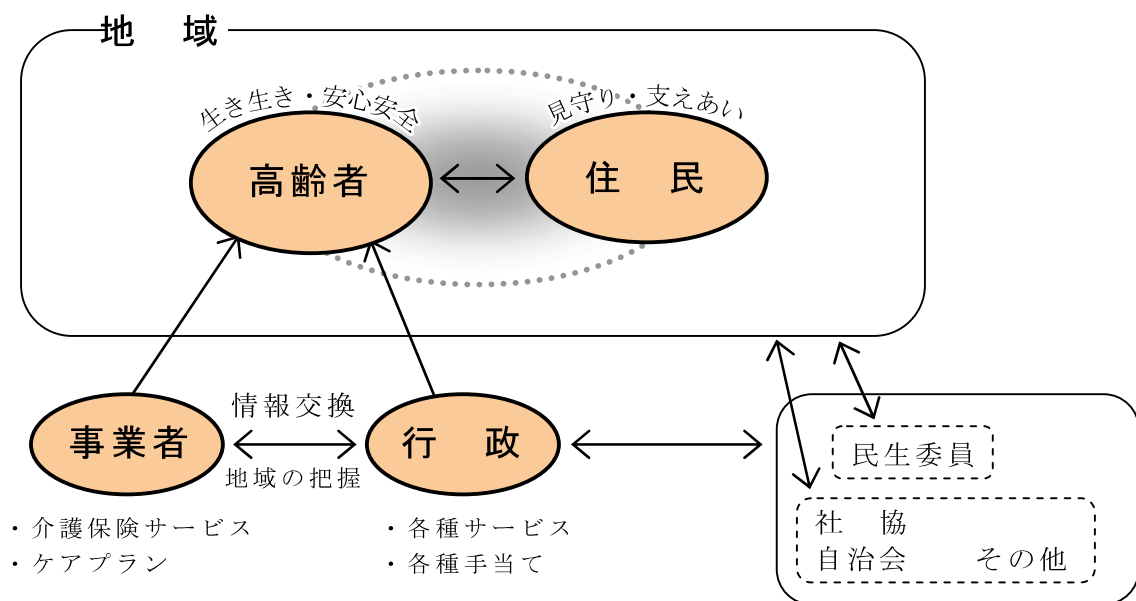
3. 自助、共助、公助による高齢者福祉の推進

高齢者が自立して地域生活を送るためには、高齢者自身が健康に気をつけるなど「自助」が必要であるほか、地域の人々の支え合いである「共助」、行政機関の支援である「公助」が重要です。

現代社会は、超高齢化、核家族化、地域性の希薄化、ニーズの多様化など、様々な要因により、高齢者を取り巻く環境は大きく変化をしています。行政では各種サービス提供等を行っており、また今後も高齢者福祉の推進のために一層の努力が必要ではありますが、行政の支援だけでは、地域での日々の生活を支えきれない状況となっています。

町の社会福祉協議会、福祉に関連する事業所、地域の各種団体、さらに地域住民とも協働し、「自助、共助、公助」による地域の福祉力向上を図る必要があります。

この「自助」「共助」「公助」について周知に努め、町民・地域・行政がそれぞれの役割を担い、そして一体となって高齢者の地域生活を支えるコミュニティづくりを推進します。



<自助・共助・公助による それぞれの役割>

○地域住民の役割○

- ・ 健診や介護予防のための取り組みに積極的に参加しましょう。
- ・ 介護に陥らないように、食事や運動など健康に気をつけましょう。
- ・ 隣近所とのつきあいを大切にし、声を掛け合って普段からの地域連帯意識を持ちましょう。
- ・ 地域活動などへの参加、地域づくりにも協力していきましょう。
- ・ ミニデイサービスなど、自ら参加して地域活動の担い手としての取り組みに努めましょう。

○行政の役割○

- ・ 高齢者の生活を支えるサービスの提供等を行います。
- ・ 高齢者が介護に陥らないように、介護予防の取り組みを推進します。
- ・ 若いうちの健康づくりについて啓発し、元気な高齢者が増えるように支援します。
- ・ 支援が必要な高齢者に対しての見守り、災害時の支援などについて体制づくりを行います。
- ・ 関係機関との連携を強化し、各種事業や施策が有効に機能するように図ります。

○サービス提供事業者の役割○

- ・ 高齢者支援に係る相談、情報提供、サービス提供のための資質向上に努めましょう。
- ・ 各関係機関との連携（横のつながり）を密接にし、支援が必要な高齢者について情報共有を行い、個々の状況に応じた適正なサービス提供等を図りましょう。

○地域、地域の団体の役割○

- ・ 支援が必要な高齢者の情報があったら地域での見守りに努めましょう。
- ・ 地域福祉活動を積極的に取り入れるように努めましょう。
- ・ 地域活動（ボランティア、ふれあい交流、スポーツや文化活動）の機会を設け、多くの住民が参加するように呼びかけていきましょう。